

新総合計画

「しあわせホームタウン甘楽」スタート！！

今年のまちづくり予算



甘楽町の眺望



令和4年度
2022年

甘 楽 町

目 次

施政方針	3
予算の規模	4
事業実施のための財源	5

主要なまちづくり事業 ※事情により年度途中で事業の変更や中止となる場合があります。

<一般会計>

1 町議会の運営	6
2 行政区の運営活動	6
3 「広報かんら」、「町民カレンダー」の発行	6
4 デマンドタクシー「愛のりくん」の運行	7
5 上信電鉄の運行支援	7
6 地域おこし協力隊の活動	8
7 交通指導員の活動	8
8 交通安全対策	8
9 防犯対策	9
10 まちづくり定住応援金	9
11 空き家対策	9
12 新商品研究開発支援	10
13 若年者の雇用支援	10
14 若年者の奨学金返還支援	11
15 甘楽の天然水商品化	11
16 個人番号（マイナンバー）カード交付事業	12
17 金婚式と敬老のお祝い	12
18 老人クラブの活動支援	13
19 家族介護慰労金	13
20 医療費の無料化（福祉医療費）	13
21 障害者福祉の推進	14
22 多世代サポートセンター改修工事	14
23 子どもたちの放課後の居場所づくり	15
24 幼児教育・保育の支援	15
25 保育料の無料化	16
26 結婚新生活支援	16
27 出産祝金	16
28 三世帯同居世帯の子育て支援	16
29 子育て支援センターの運営	17
30 火葬場利用補助	17
31 公立富岡総合病院と公立七日市病院の運営	17
32 予防接種	18
33 住民の健康診査	18
34 新型コロナウイルスワクチン接種	18
35 母子保健事業	19
36 環境対策への補助	19
37 家庭ごみの収集処理	20
38 し尿処理	20

39	農業員会の運営	21
40	農業の振興	21
41	ふるさとを離れる学生の支援	21
42	土地改良（農道や農業用水路の整備）	22
43	有害鳥獣駆除対策	22
44	里山の整備	23
45	林道の整備	24
46	企業誘致の促進	25
47	商工業者への金融支援	25
48	創業支援と空き店舗の活用	25
49	観光イベント	26
50	地域住民による道路整備	26
51	生活道路の整備	27
52	甘楽PAスマートインターチェンジの整備	28
53	公園の整備	29
54	木造住宅の耐震化	29
55	住宅リフォームの補助	29
56	広域の消防と救急体制の整備	30
57	甘楽町消防団の運営	30
58	耐震性貯水槽（防火水槽）の設置	31
59	適応指導教室の運営	31
60	外国語教育の推進	31
61	小学校の運営	32
62	中学校の運営	32
63	国指定名勝・楽山園の運営	33
64	文化会館の運営	33
65	電子書籍の導入	34
66	さくらマラソン大会の運営	34
67	学校給食の提供	35
68	学校給食の無償化	35
69	借金（地方債）返済	36

<特別会計・企業会計>

70	国民健康保険事業	37
71	介護保険事業	38
72	後期高齢者医療	39
73	農業集落排水事業	39
74	公共下水道事業	40
75	水道事業	41

施政方針

令和4年度予算編成にあたりましては、町民の皆様が安全で安心して生活できることを町政の基本と考え、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、甘楽町第6次総合計画「いきいきかんらプラン」がスタートする大事な一年となりますので、計画に盛り込まれた町民の声をいち早く実施するよう配慮し、各種事業別事業計画に盛り込まれた重点施策について事業を推進して参ります。

一般会計当初予算は、厳しい財政状況のなか、甘楽スマートインターチェンジ整備事業、子育て支援対策などの重要事業が予定されていますので、適正な起債（借金）の借入を行うほか、各基金（貯金）の繰り入れを実施し、財源確保に努めた予算編成を行いました。

予算執行に当たっては、財政状況の変化により柔軟に対応し、実施事業の取捨選択や経費のより一層の圧縮を進め、必要な予算は確保しながら健全な財政運営に努めて参ります。

本町財政は、今後も厳しい状況に変わりはありませんが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行い、そして、町民生活の向上を図るため、しっかりと取り組んで参りたいと考えておりますので、町民の皆様の深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この冊子は、令和4年度の甘楽町の当初予算概要をまとめたものです。町の様々な施策の中でも町民に身近な事務事業の予算を掲載いたしました。町民の皆様に関心のある施策にいくらか使われるかをお知らせし、実現に向けて町としても全力で取り組んでいくことをお示しするものです。

これからも皆様の声を聞きながら、一緒に力を合わせてまちづくりを進めていきたいと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和4年4月

甘楽町長

藤原 莊一

予算の規模（過去10年間の推移）

年 度	当初予算額	前年比較	増減率	(参考) 歳出決算額
令和4年度	64億7,400万円	7億900万円 増	12.3%増	
令和3年度	57億6,500万円	4億9,800万円 増	9.5%増	
令和2年度	52億6,700万円	1,500万円 減	0.3%減	72億2,517万円
令和元年度	52億8,200万円	4億3,600万円 増	9.0%増	51億7,193万円
平成30年度	48億4,600万円	2億3,800万円 減	4.7%減	49億4,510万円
平成29年度	50億8,400万円	1億800万円 増	2.2%増	50億6,630万円
平成28年度	49億7,600万円	25億2,800万円 減	33.7%減	51億2,024万円
平成27年度	75億 400万円	14億6,900万円 増	24.3%増	80億4,005万円
平成26年度	60億3,500万円	14億500万円 増	30.3%増	59億5,663万円
平成25年度	46億3,000万円	4億5,000万円 減	8.9%減	64億7,343万円

令和4年度予算の特徴は…



総額64億7,400万円で、前年比12.3%増と過去6年間では最大規模の予算となりました。

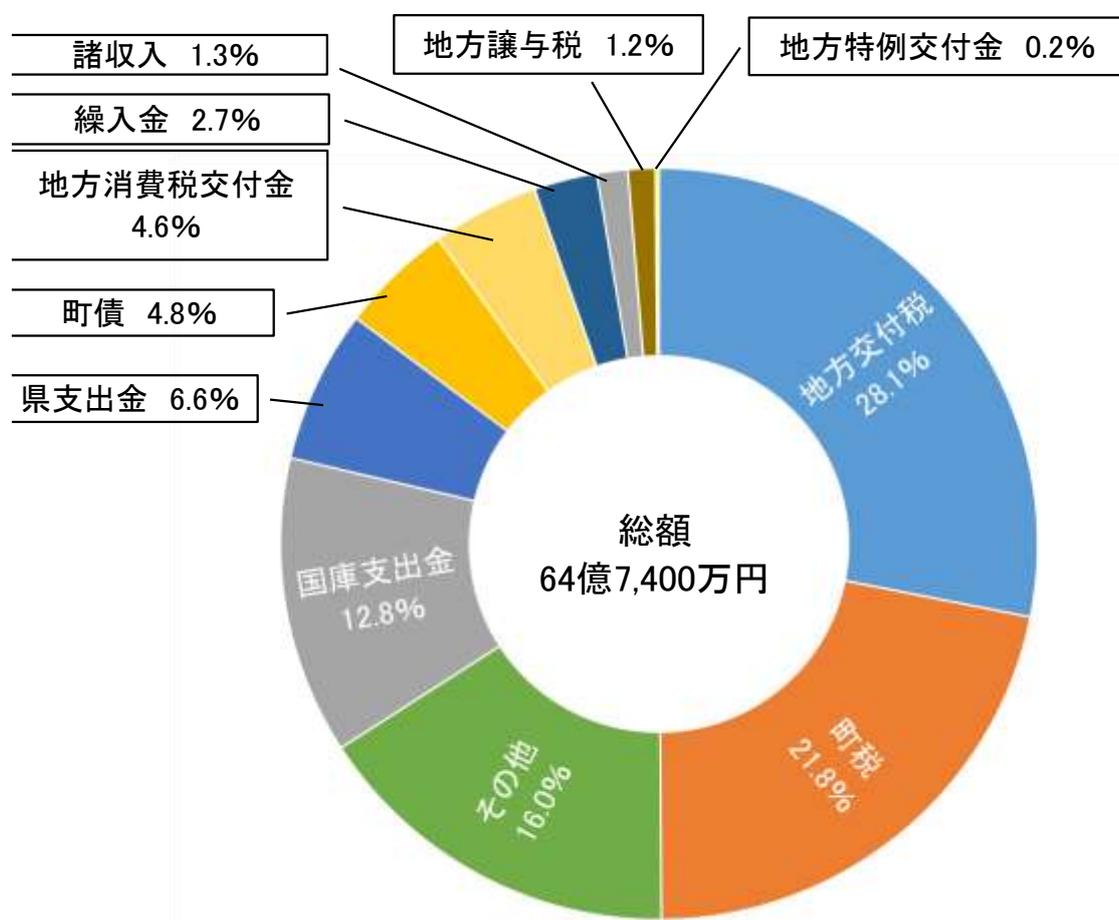
増えた要因は、令和5年3月の供用開始に向けた甘楽PAスマートインターチェンジ整備事業や令和4年度より民営化される「めぶきの森かんら」「かんら保育園」への補助金などが増加したことによるものです。

新たな施策としては、子育て支援対策において、1箇所で行っていた学童保育所を小学校区ごとに設置し、放課後こども教室と連携して放課後児童の安全な居場所づくりを推進し、小学校および中学校の生徒の給食費を無料化するとともに、第2子にかかる保育料と高校生世代の入院と通院にかかる医療費を無料化し、子育てに伴う負担の軽減を図ります。

このほか、主な予算は次ページ以降で紹介します。

事業実施のための財源

事業を行うには資金が必要です。前ページの予算総額64億7,400万円を、どのような財源でまかなうのかをグラフでお知らせします。



説明

地方交付税	18億2,000万円	全ての地方公共団体が一定の水準で行政事務が行えるよう、国が集めた税金の一定割合を再配分する制度
町税	14億1,013万円	住民税、固定資産税、法人町民税など町が徴収する税
国庫支出金	8億2,938万円	事業の実施のために国から交付される負担金、補助金など
町債	3億1,310万円	町が事業を行うために資金調達として負担する債務で、借入金(ローン)にあたる
県支出金	4億2,535万円	事業の実施のために県から交付される負担金、補助金など
その他	10億3,416万円	国からの交付金、繰越金、使用料、寄附金など
繰入金	1億7,422万円	町が目的に応じて積み立てている基金(預金)の取り崩し
地方消費税交付金	2億9,700万円	地方消費税10%の一部が、人口や統計数値に応じて市町村に交付される
諸収入	8,559万円	給食費、販売収入、外部機関からの納付金など
地方譲与税	7,509万円	自動車重量税やガソリン税などの収入額の一部が、道路延長や面積で配分される
地方特例交付金	1,000万円	減税に伴う地方の減収額の一部を補てんするために交付される財源で、地方税の代替的性格を有する

一般会計

1 町議会の運営 5,724 万円

町民の代表である議員は、町民の声を町政に反映させるため、条例・予算などを議会で議論し決定しています。議会は、町と相互に抑制と均衡を図り、町民が安心して暮らせるまちづくりのために活動しています。年4回「議会だより」を発行し、住民に議会活動報告を行うほか、一般質問の録画を公開しています。

主な経費

議員報酬、手当、共済費 12人分	5,466 万円
議員活動のための事務経費	258 万円

財源

町の負担	5,724 万円
------	----------

2 行政区の運営活動 1,160 万円

区長、区長代理、組長の皆さんの協力をいただき、住民と町との情報連携、円滑な行政サービスに努めます。町には1区から28区までの25行政連絡区があります。

主な経費

区長の報償金 25人 世帯割1,200円 平等割80,000円	716 万円
区長代理の報償金 30人 世帯割300円 平等割20,000円	186 万円
組長の報償金 対象世帯数4,300世帯 世帯割600円	258 万円

財源

町の負担	1,160 万円
------	----------

3 「広報かんら」、「町民カレンダー」の発行 504 万円

住民と町とのコミュニケーションを高めるため、「広報かんら」、「おしらせ版」、「町民カレンダー」を作成し発行します。

主な経費

「広報かんら」印刷代 毎月1回 4,920部発行	433 万円
「令和5年度町民カレンダー」印刷代 5,350部発行	71 万円

財源

広報かんら、町民カレンダー広告料(協賛企業等)	77 万円
町の負担	427 万円

4 デマンドタクシー「愛のりくん」の運行

962 万円

固定の停留所を設けず、町内全域ならどこでも乗降できるデマンド型タクシーの運行を行っています。運行事業者は公募により(有)昭和タクシーに委託しています。

デマンドタクシーの維持により、交通弱者及び公共交通空白地域住民の日常生活に不可欠な公共交通移動手段を確保し、外出の促進と地域の活性化を図ります。

主な経費

デマンドタクシー運行補助金 962 万円

財源

県からの補助金 45 万円

町の負担 917 万円



<登録・利用予約>

フリーダイヤル
0120-74-0013
午前8時～午後6時

<利用料金>

乗車1回あたり
おとな300円
こども100円

令和4年3月31現在、1,338の方が愛のりくに登録しています。
運転免許を自主返納した方には回数券を贈呈しています。(8ページ 交通安全対策を参照)



5 上信電鉄の運行支援

1,776 万円

通勤・通学者の重要な公共交通である上信電鉄の運行を支援するため、群馬県及び沿線市町村(高崎市・富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町)が共同して経営再建計画に基づき財政支援をしています。

さらに、県道金井高崎線の拡幅に伴い、上州新屋駅が線路北側へ移転整備されたことで、利便性の向上が期待されます。

主な経費

上信電鉄運行支援(レール、枕木、車両整備費など) 1,776 万円

財源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 500 万円

町の負担 1,276 万円



6 地域おこし協力隊の活動

1,487 万円

都市地域から過疎地域等(甘楽町)に住み票と生活の拠点を移す人を町が募集して地域おこし協力隊として委嘱するもので、隊員は一定期間(最長3年)町に居住し、町のPRや地域活動など地域おこしの活動を行います。

主な経費

隊員活動報償金(給与)、民間住宅家賃補助など 4名分 1,487 万円

財 源

町の負担(ただし、経費は特別交付税として国から交付されます) 1,487 万円

7 交通指導員の活動

366 万円

通学路の誘導や交通安全運動など地域の安全を見守る交通指導員10人が活躍しています。

主な経費

交通指導員10人の報酬 230 万円

交通指導員10人の活動経費等 136 万円

財 源

県からの補助金 14 万円

町の負担 352 万円



8 交通安全対策

292 万円

町内交通事故の撲滅と子どもや高齢者などの交通弱者が安心して過ごせるための交通安全対策に取り組みます。令和4年度は、カーブミラーの新規設置や高齢者運転免許証自主返納支援及び高齢者安全運転装置設置支援を推進します。

主な経費

交通安全運動の経費 61 万円

カーブミラーなどの設置や修繕 10カ所 189 万円

高齢者運転免許証自主返納支援(デマンドタクシー愛のりくん回数券など) 17 万円

高齢者が自家用車に安全運転支援装置を設置した場合の補助金 5件分 25 万円

財 源

反射ベスト販売代金 1 万円

町の負担 291 万円

9 防犯対策

738 万円

町民が安全に、安心して暮らせるため、地域の防犯委員とともに防犯活動を推進します。
また、地域の防犯灯の維持管理・新規設置、防犯カメラの設置、特殊詐欺防止装置の貸し出しを行います。

主な経費

防犯灯の新規設置 LED型20基予定	66 万円
防犯灯の電気代、修繕など維持管理	538 万円
【拡充】防犯カメラ設置(1台)、電気代	60 万円
防犯委員と防犯協会の活動費	74 万円

財源

町の負担	738 万円
------	--------

10 まちづくり定住応援金

938 万円

定住化による活力あるまちづくりを推進するため、新築家屋を取得した方に応援金を交付します。
令和3年度より転入者、中学生以下の子どもがいる世帯、住宅用の土地を購入した方、町内業者で施行したなどの条件により金額を加算する制度に拡充しています。

主な経費

まちづくり定住応援金 70戸見込み	938 万円
-------------------	--------

財源

町の負担	938 万円
------	--------

11 空き家対策

888 万円

増え続ける空き家の対策のため、危険な空き家を解体した場合に補助金を交付します。
また、空き家の利活用を推進するため、空き家をリフォームして居住する方に補助金を交付します。この他、空き家の実態調査を実施する予定です。

主な経費

危険な空き家の解体補助金(不良住宅及び特定空き家除却補助金) 9戸見込み	450 万円
空き家リフォーム補助金 2戸見込み	100 万円
空き家実態調査業務委託料	338 万円

財源

国からの交付金	419 万円
町の負担	469 万円



12 新商品研究開発支援

140 万円

町の産業の活性化を図るため、新たに研究開発される食品、工芸品等に対し経費の一部を助成します。補助率は8/10で、上限50万円まで支援します。

また、県と町の共同(パートナーシップ)により、新たな技術や製品開発にかかる経費の一部も助成します。補助率の上限は群馬県が40万円、甘楽町が40万円です。

主な経費

町新商品研究開発支援補助金 (2件)	100 万円
ぐんま新技術・新製品開発推進補助金 (1件)	40 万円

財 源

町の負担	140 万円
------	--------

13 若年者の雇用支援

280 万円

若者の帰町や定住を推進するため、町内企業が大学や高校等の卒業者を正社員として採用した場合に、事業所に助成金を支給します。助成額は大卒等25万円/人、高卒10万円/人です。

また、令和3年度からは、就職した本人(外国人含む)にも10万円を助成します。

主な経費

大卒者等新卒採用 (4名)	100 万円
高卒者新卒採用 (7名)	70 万円
本人への助成 (11名)	110 万円

財 源

町の負担	280 万円
------	--------



14 若年者の奨学金返還支援

200 万円

『かんら未来人財応援事業』として、将来を担う若者の定住及び町内企業の活性化を図るため、町内に定住する若者又は町内企業で就業する若者が返済する奨学金の一部を支援します。支援は30歳になるまでの期間で、最長5年、総額60万円です。

主な経費

奨学金返還支援助成金 20人見込み 200 万円

財源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 100 万円

町の負担 100 万円



<奨学金返還支援助成金制度のご案内>

◎対象となる奨学金

独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金及び第二種奨学金

◎対象者(要件の一例)

- ・年度の4月1日現在で30歳未満の人
- ・奨学金の貸与を受けて、その返還を行っている人
- ・正規雇用により就業し、継続して勤務していること(ただし、公務員の方は支援対象外です)

◎年度内に返還した奨学金の額の2分の1以内で、年間の助成金上限は下記のとおりです。

助成期間は最長5年間(60月分)です。

- ・町内に住所を有し、かつ、町内企業で就業する人 12万円 (5年間で最大60万円)
- ・町内に住所を有する人 10万円 (5年間で最大50万円)
- ・町内企業で就業する人(住所は町外でも可) 2万円 (5年間で最大10万円)

15 「かんらの天水」活用

408 万円

「かんらの天水」は、災害への備え、防災意識の醸成、地域の活性化、環境問題への関心、持続可能な施策の展開などを目的に、産官学民の連携によって令和3年11月に商品化されました。今後も「かんらの天水」を製造し、災害用備蓄や各種イベント等での活用を行います。

主な経費

製造業務委託料 290 万円

採水地水質検査、保管料など 118 万円

財源

企業版ふるさと納税 200 万円

飲料水販売収入 119 万円

町の負担 89 万円

16 個人番号（マイナンバー）カード交付事業

551 万円

個人番号カードは、令和4年度末までに、ほぼすべての国民が取得することを目指しています。町では、休日交付窓口の開設や出張申請を実施し、交付率の向上を目指します。

主な経費

個人番号カード交付事務費…人件費、郵便料など 551 万円

財源

国からの交付金 551 万円

17 金婚式と敬老のお祝い

186 万円

婚姻後50周年を迎えたご夫婦に対し、慶状と記念品を贈呈して長寿をお祝いしています。また、節目の年齢を迎えた高齢者に対し、敬老祝金及び特別敬老祝金を贈呈して長寿を祝い、敬老の意を表しています。

主な経費

金婚式記念品 30組見込み 15 万円

特別敬老祝金(100歳到達) 10万円 4人見込み 40 万円

敬老祝金(88歳、99歳、101歳以上) 1万円 114人見込み 114 万円

敬老祝品(89歳～98歳) 記念品支給 515人見込み 17 万円

財源

町の負担 186 万円



18 老人クラブの活動支援

125 万円

高齢者福祉の推進を図るため、各老人クラブへ補助金を交付するものです。

主な経費

単位老人クラブ 24クラブ見込み	76 万円
老人クラブ連合会 1団体見込み	29 万円
85歳以上会費分補助 400人見込み	20 万円

財 源

県からの補助金	66 万円
町の負担	59 万円

19 家族介護慰労金

220 万円

日常生活に著しい支障のある在宅高齢者を介護する人に対して、介護の労をねぎらうことを目的とし、慰労金を支給します。

主な経費

家族介護慰労金 15世帯見込み	220 万円
-----------------	--------

財 源

町の負担	220 万円
------	--------

20 【拡充】医療費の無料化（福祉医療費）

9,808 万円

子ども、重度心身障害者、母子家庭の母と子、父子家庭の父と子の健康と福祉の増進を目的として、医療機関窓口で支払う自己負担金を福祉医療費として公費で支給しています。実質医療費が無料となる制度で、令和4年度より中学生までの子どもから高校生までに拡充しています。

主な経費

【拡充】中学生までの子ども、高校生世代の福祉医療費 対象者1,640人	4,212 万円
重度心身障害者、高齢重度障害者の福祉医療費 対象者280人	4,754 万円
母子家庭、父子家庭の福祉医療費 対象者175人	672 万円
事務手数料など	170 万円

財 源

県からの交付金	4,882 万円
地域福祉基金(町が福祉のために積み立てている貯金)から繰り入れ	1,500 万円
町の負担	3,426 万円

21 障害者福祉の推進

3億2,699万円

障害者が日常生活能力を回復するための医療給付費等の負担を軽減することで、自立した日常生活、社会生活を送れるよう支援するものです。

主な経費

障害者自立支援介護給付費	2億1,586万円
自立支援医療給付費	3,262万円
地域生活支援事業委託料	1,128万円
障害児通所給付費	4,370万円
その他委託料・補助金など	2,353万円

財源

国からの交付金	1億5,415万円
県からの補助金	7,788万円
心身障害者共済年金など	150万円
町の負担	9,346万円

22 多世代サポートセンター改修工事

2,099万円

町では、公共施設の長寿命化や維持管理コスト縮減、統廃合を進めるため個別施設計画を策定しました。この計画により、令和4年度は建築から26年経過(1994年築)する多世代サポートセンター(ここここ甘楽)の受水槽更新とデイサービスセンターの照明LED化工事を実施します。

主な経費

受水槽更新工事、設計監理	1,472万円
デイサービスセンターLED化工事、設計監理	627万円

財源

甘楽町公共施設等整備基金	2,000万円
町の負担	99万円

23 【拡充】子どもたちの放課後の居場所づくり

3,747 万円

子育て支援として学童保育クラブに関する費用を計上し、円滑な管理運営を行います。また、令和4年度に学校区ごとに学童保育所を開設し、並行して新屋学童保育所を改修することで、放課後の学習・運動活動場所の確保に努めます。

主な経費

新屋学童保育所改修費	1,734 万円
かんら学童保育所指定管理者委託料	1,332 万円
放課後子ども教室推進事業費	681 万円

財 源

国からの交付金	844 万円
県からの交付金	1,161 万円
放課後子ども教室負担金	21 万円
町の負担	1,721 万円

24 【新規】幼児教育・保育の支援

3億8,137万円

子育て支援として、町内施設へ施設整備や延長保育等に対する補助金を計上し、利用者のニーズに応え安心して預けられるように支援します。

また、めぶきの森かんら、かんら保育園及び管外保育委託に関する経費を計上し、仕事や病気等のため保育を必要とする保護者が、安心して子どもを預けられるよう支援します。

主な経費

めぶきの森かんら 定員185人	1億6,175万円
かんら保育園 定員120人	9,121 万円
管外施設型給付費	4,034 万円
保育所等施設整備補助金	4,149 万円
その他の補助金	4,658 万円

財 源

国からの交付金	1億7,362万円
県からの補助金	7,792 万円
保育所児童、管外保育受託料	1,232 万円
町の負担	1億1,751万円



25 **保育料の無料化** 1,056 万円

町では、令和4年度から子育てに伴う家計の負担を軽減するため、第2子以降のこどもにかかる保育料を無料化します。

減収額

【新規】保育所児童受託料の減収(第2子分)	723 万円
保育所児童受託料の減収(第3子以降分)	333 万円

26 **結婚新生活支援** 300 万円

少子化対策の強化及び人口減少対策を目的に、新たに婚姻した世帯に対し、住居費・リフォーム費用及び引越費用の一部を補助し、新生活を支援します。年齢や所得の要件がありますが、甘楽町は群馬県基準より緩和しています。

主な経費

結婚新生活支援補助金交付	300,000円(上限)×10組	300 万円
--------------	------------------	--------

財源

県からの補助金	75 万円
町の負担	225 万円

27 **出産祝金** 975 万円

子育てに伴う家計の負担軽減と生まれた子の健全な育成を目的に、出産された方に出産祝金を支給しています。

主な経費

出産祝金(甘楽町商工会商品券)	50,000円×65人	325 万円
甘楽町子育て応援金	100,000円×65人	650 万円

財源

国からの交付金	650 万円
町の負担	325 万円



28 **三世代同居世帯の子育て支援** 69 万円

家族の絆の再生と定住促進を図るため、親と子と孫が同居しお互いを助け合いながら生活する三世代同居世帯で、保育園やこども園などに通所・通園していない児童(0歳～3歳まで)がいる世帯に商品券を贈呈しています。

主な経費

奨励金(甘楽町商工会商品券)	30,000円×23世帯	69 万円
----------------	--------------	-------

財源

町の負担	69 万円
------	-------

29 子育て支援センターの運営

1,322 万円

児童の健全な育成環境を整備するため、地域の子育て支援拠点となる子育て支援センターの運営強化を図ります。

主な経費

子育て支援センター業務委託料 1,322 万円

財源

国からの交付金 441 万円

県からの交付金 441 万円

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 440 万円

30 火葬場利用補助

700 万円

他市町の火葬場を使用した方に対して、公衆衛生の向上と公共の福祉の増進のために補助金を交付しています。

主な経費

火葬場利用補助金 35,000円×200人分 700 万円

財源

町の負担 700 万円

31 公立富岡総合病院と公立七日市病院の運営

3,108 万円

当地域の拠点病院である公立富岡総合病院と公立七日市病院は、富岡地域医療企業団が経営を担っています。富岡市と甘楽町は開設者(運営者)として病院建設費や医療用機械器具購入費などの一部を負担しています。

主な経費

富岡地域医療企業団負担金 3,108 万円

財源

町の負担 3,108 万円

32 予防接種

3,763 万円

感染症の感染や重症化を防ぎ健康を保持するため、予防接種の体制を整備します。

主な経費

予防接種委託料・医薬品ほか 3,763 万円

財源

国からの交付金 58 万円

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 300 万円

町の負担 3,405 万円



33 町民の健康診査

2,130 万円

町民の健康を保持するため、がん検診や住民健診、健康教育を通し、疾病の予防・早期発見を行います。

主な経費

がん検診(胃がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、前立腺がん、肺がん) 1,828 万円

住民健康診査 214 万円

【新規】歯科検診委託料(20・30歳が対象) 88 万円

財源

国からの交付金 9 万円

県からの補助金 75 万円

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 300 万円

受診者の負担金 195 万円

町の負担 1,551 万円

34 新型コロナウイルスワクチン接種

5,115 万円

新型コロナウイルス感染症の発症と重症化予防を目的としたワクチン接種に係る費用です。

主な経費

ワクチン接種医療機関委託料 2,486 万円

事務経費(人件費・医薬材料費・コールセンター運営など) 2,629 万円

財源

国からの交付金 5,115 万円

35 母子保健事業

1,674 万円

妊娠・出産から子育てまで切れ目ない支援体制を整え、子育てしやすいまちづくりを推進します。また、不妊・不育症・未熟児養育医療などの治療に係る費用を支援します。

主な経費

妊娠出産支援(産後ケア・産婦健診など)	97 万円
子ども子育て支援	118 万円
未熟児養育医療	50 万円
不妊・不育症治療費等補助	295 万円
妊婦健診・妊婦歯科健診 115人見込み	675 万円
ブックスタート事業 60人見込み	14 万円
その他事務経費	425 万円

財源

国からの交付金	161 万円
県からの交付金	35 万円
町の負担ほか	1,478 万円



36 環境対策への補助

423 万円

リサイクル推進のため、資源ごみを集団回収している子ども会に奨励金を補助金として支給します。また、行政区で第2、4土曜日に実施している資源ごみの分別作業の奨励金として、分別収集売上額の約70%を補助金として各行政区へ還元します。

ごみ減量化のために生ごみ処理機を設置した方への補助金、スズメバチ駆除にかかる費用の一部も補助します。

主な経費

子ども会の廃品集団回収への補助金 1kg当たり8円を補助	128 万円
各行政区への分別収集補助金 世帯割400円 平等割30,000円	237 万円
生ごみ処理機等設置補助金(電動式生ごみ処理機、コンポストなど)	40 万円
スズメバチ等駆除費補助金 駆除費の1/2 最大10,000円	18 万円

財源

分別収集売上金	218 万円
町の負担	205 万円



37 家庭ごみの収集処理

1億5,057万円

各家庭から排出されるごみ(一般廃棄物)を適切に収集運搬するために、各ごみの種類に応じて指定袋を作成し、住民の方々のごみ出しの協力により収集運搬を円滑に実施します。

町には焼却施設がないため、富岡市清掃センターへ焼却委託をしています。

また、令和3年10月から可燃性粗大ごみ(家具類、布団類など)を運搬し、富岡市に焼却委託を実施しています。

主な経費

ごみ指定袋作成代	796 万円
富岡市清掃センターごみ焼却委託料 焼却費 1kg当たり44.4円	1億472 万円
【年間ごみ排出量見込み 家庭ごみ2,025トン、事業所310トン】	
ごみ収集処理委託料	3,305 万円
その他ごみ(小型家電、乾電池、蛍光灯、不法投棄処理など)処理経費	484 万円

財源

県からの交付金	9 万円
ごみ指定袋販売収入など	2,945 万円
町の負担	1億2,103 万円



38 し尿処理

477 万円

せせらぎクリーン計画により、公共下水道・農業集落排水事業の整備区域外について、合併処理浄化槽の設置を推進し水質浄化に努めています。

今後も合併浄化槽の設置に要する経費の補助をはじめ、汲み取り槽や単独浄化槽から合併浄化槽へ転換した場合の宅内排水設備工事に要する経費を補助する制度を運用し、設置・転換を促進します。

主な経費

合併処理浄化槽設置補助金	284 万円
合併処理浄化槽宅内排水設置補助金	150 万円
合併処理浄化槽維持管理補助金	42 万円
その他	1 万円

財源

国からの交付金	138 万円
県からの補助金	50 万円
その他手数料	1 万円
町の負担	288 万円

39 農業委員会の運営

603 万円

農地法に基づく農地の売買、転用、賃貸借の許可に関する事務を行います。
また、農地の利用状況調査及び農地利用集積による利用権設定の斡旋等を行い遊休農地の解消に努めます。

主な経費

農業委員人件費分など(農業委員8名)	327 万円
タブレット端末通信・購入費	98 万円
その他事務費など	178 万円

財 源

県からの交付金など	235 万円
町の負担	368 万円

40 農業の振興

683 万円

農業者及び農業者による団体に対する各種補助事業実施、特定野菜価格差給付事業による負担金交付、農業関係施設の維持管理、地産地消の推進、認定農業者連絡協議会などの取組を推進します。

主な経費

強い農業・担い手づくり総合支援交付金	253 万円
蚕糸業継承対策事業補助金	105 万円
【新規】農業経営収入保険加入促進助成金 上限5万円	75 万円
鳥獣害防止、地域ブランド強化、地産地消推進、環境保全型農業支援	250 万円

財 源

県からの補助金	368 万円
町の負担ほか	255 万円

41 ふるさとを離れる学生の支援

156 万円

町から親元を離れて、町外で暮らしている学生に対して道の駅甘楽で販売している町内で製造生産された詰め合わせセットを送り、生産者支援及び学生への支援をします。

主な経費

甘楽町ふるさと甘楽仕送り便	156 万円
---------------	--------

財 源

町の負担	156 万円
------	--------

42 土地改良（農道や農業用水路の整備）

8,110 万円

農業生産の向上に向け、運搬や作業の効率化のための農道整備、作付けに必要となる用水の供給・排水のための農業用水路の整備・更新を行います。

主な経費

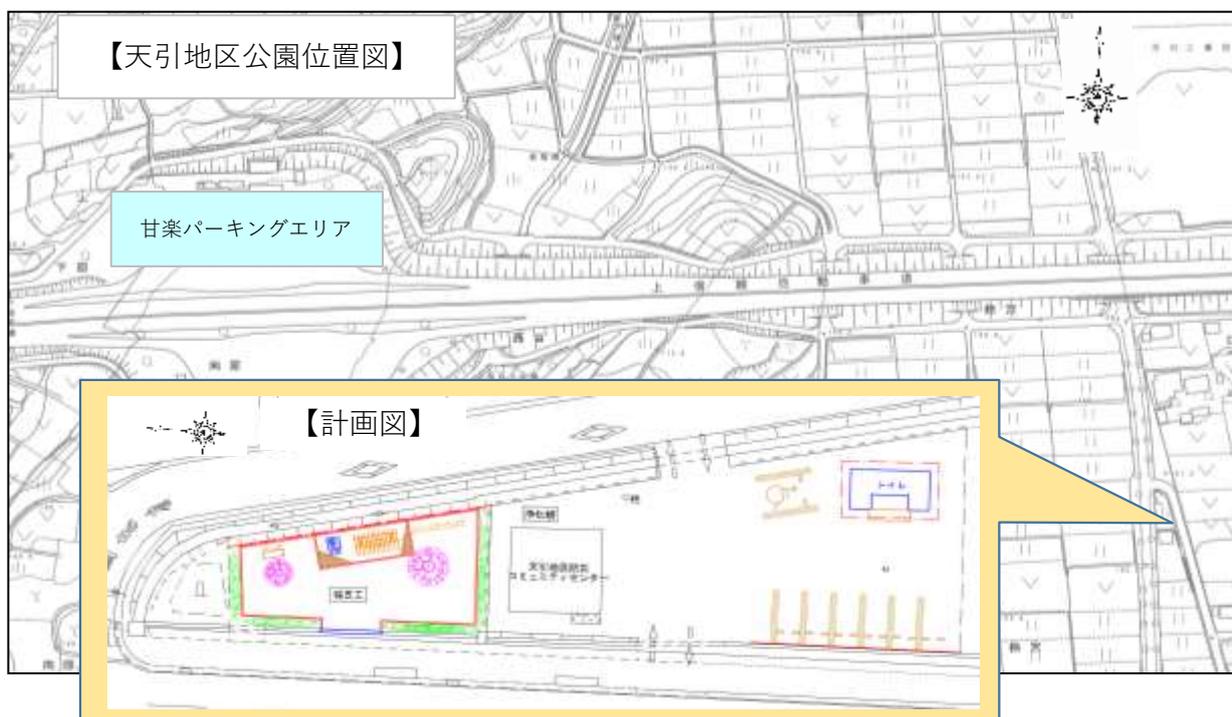
農道や農業用水路の整備 8,110 万円

【予定箇所】天引（農村公園整備※下図参照）、秋畑（伏鹿、峰）、上野、権現堂ほか

財源

県からの交付金 3,030 万円

町の負担 5,080 万円



43 有害鳥獣駆除対策

296 万円

有害鳥獣による人的被害、農林水産物等への被害防止対策を図るための施策を進めます。また、狩猟免許の取得、銃砲等の所持の許可又は購入する費用の一部を助成しています。

主な経費

有害鳥獣駆除委託料 189 万円

狩猟免許取得等補助金 83 万円

その他経費 24 万円

財源

県からの補助金 199 万円

町の負担 97 万円

ぐんま緑の県民税等の補助金を活用して、地域の団体と協力して里山や山林などの森林環境の整備を行います。今年度は福島県の天王塚古墳山林整備を予定しています。

主な経費

「ぐんま緑の県民基金事業」を活用した荒廃林整備	450 万円
荒廃林整備後の維持管理	59 万円

財源

県からの補助金	509 万円
---------	--------



★荒廃林整備予定箇所の位置図は次のページをご覧ください。

なお、地図上の予定箇所の面積や位置は目安であり正確ではありません。

「ぐんま緑の県民税」とは

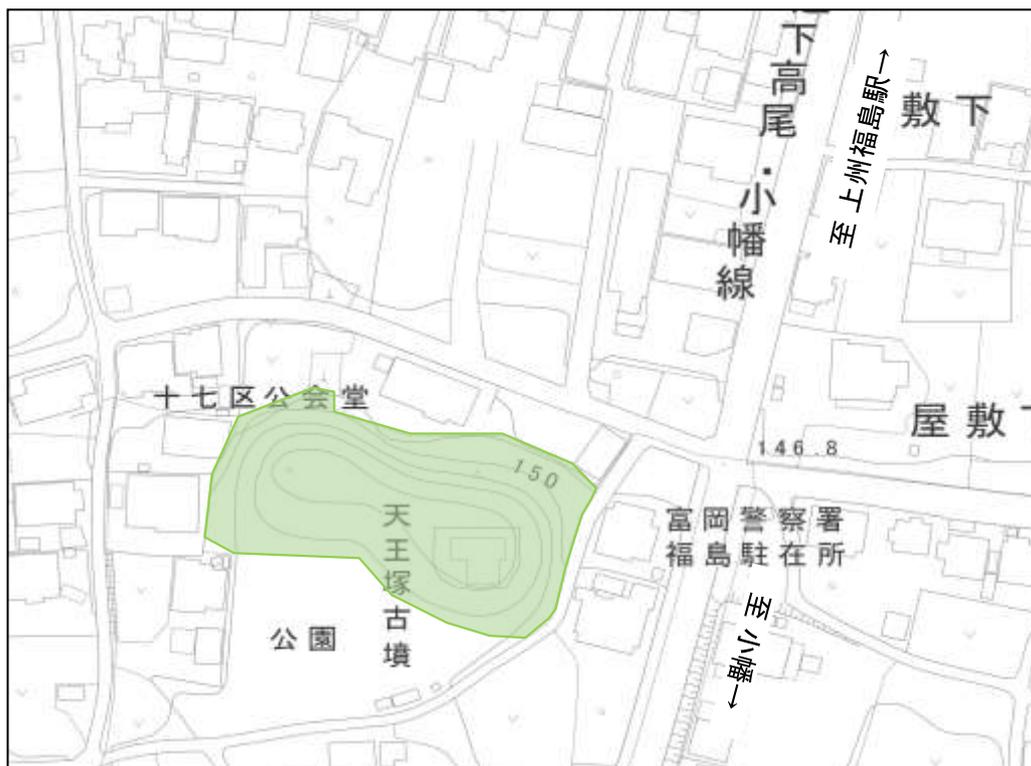
大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、平成26年度から導入された群馬県の税金です。現在の税額は、県民税均等割として年間一人700円です。

甘楽町では、この税収の一部を補助金として受け取り、荒廃した里山や竹林などの整備に活用しています。



「ぐんま緑の県民税」の補助金を活用して整備された里山
(善慶寺地内の通学路)

天王塚古墳の山林(福島)



45 林道の整備

3,571 万円

林業・特用林産物の生産性の向上を図りながら、山間地域の連絡道路や山間部の集落の生活道としての役割を担う林道と林業経営のための作業道の整備を進めます。また、森林資源の循環利用を進めていきます。

主な経費

林道整備事業(稲含高倉線・芳の元線・入山線・二ノ倉線ほか)	1,550 万円
群馬県が整備する林道草喰八丁河原線の工事負担金など	1,580 万円
森林組合が整備する作業道の補助金など	441 万円

財源

県からの補助金	1,077 万円
町の負担	2,494 万円

46 企業誘致の促進

1,080 万円

町内に新規進出または規模拡大した企業や店舗に対し、企業誘致促進事業補助金(固定資産税相当額、下水道受益者分担金の1/2など)を交付しています。

主な経費

企業誘致促進事業補助金(町内に新規進出又は増築した企業など) 1,080 万円

財 源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 400 万円

町の負担 680 万円

47 商工業者への金融支援

1,548 万円

町内の中小企業者の育成と商工業の振興を図るため、町小口資金融資利用者に対する保証料補助、利子補給等を行います。

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、売上が10%以上減少している場合、保証料及び利子について全額補給します。

主な経費

小口融資資金利子補給金(230件分) 1,240 万円

小口融資資金信用保証料補助金(60件分) 300 万円

その他経費 8 万円

財 源

町の負担ほか 1,548 万円

48 創業支援と空き店舗の活用

175 万円

町の創業支援事業計画に従って、町と連携する事業者等が行う創業支援の取組に要する経費の一部を補助し、町内における新たな創業を促すとともに新規事業者の育成、雇用の創出及び地域経済を活性化を図ります。

主な経費

空き家空き店舗等活用支援事業補助金(2件分) 100 万円

創業支援事業者補助金 50 万円

創業支援各種補助金 25 万円

財 源

町の負担 175 万円

49 観光イベント

842 万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、「武者行列」は通常開催が難しいため、代替イベントとして、城下町小幡おもてなし活動や町内小学生を対象に時代衣装着付け体験等の企画、キッチンカー等の招致をします。「花火大会」は終息を見込み通常開催を予定します。新緑期間の新たなイベントとして、アンブレラスカイを実施します。また、秋には「もみじウオーク」を開催します。

主な経費

イベント用の消耗品、委託料、記念品など 842 万円

財源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 550 万円

町の負担 292 万円



50 地域住民による道路整備

799 万円

町道や水路の維持修繕を行い、利用者の安全性の向上を図ります。また、行政区からの要望により原材料支給を行うことで地域連携を促進します。

主な経費

【拡充】原材料費(行政区要望支給用、常温合材、凍結防止剤ほか) 799 万円

財源

町の負担 799 万円

人々の生活に不可欠な基盤の一つである道路整備を行いながら、平常時はもとより災害時にも、住民が安全で安心して通行できる道づくりを目指します。

主な経費

道路改良工事費、設計委託費、土地購入費など	6,405 万円
その他経費	20 万円

財源

国からの交付金	2,705 万円
町の負担	3,720 万円



52 甘楽PAスマートインターチェンジの整備

4億3,005 万円

町民、来町者の利便性の向上、物流機能の強化や観光ルート形成のほか、災害時の緊急輸送路としても機能を果たすスマートICの整備を進め、令和5年3月の供用開始予定です。

主な経費

スマートIC整備事業費 4億3,005 万円

財 源

国からの交付金 2億735 万円

町の負担 5,210 万円

町の負担のうち借金〔町債〕 1億7,060万円



53 公園の整備

7,600 万円

旧甘楽一中跡地に建設した「認定こども園」周辺の公園整備を実施することで、町の活性化を図ります。

その他、総合公園児童コーナー遊具設置、織田公公園の整備を実施することで、町の魅力を増進させます。

主な経費

笹浦公園整備関係	5,700 万円
総合公園遊具設置	500 万円
織田公公園整備	1,400 万円

財 源

国からの交付金	2,700 万円
町の負担のうち借金〔町債〕	3,250 万円
ふるさとづくり寄附金（ふるさと納税）	200 万円
町の負担	1,450 万円

54 木造住宅の耐震化

140 万円

耐震診断者を派遣して木造住宅における耐震状況の調査を行い、耐震基準が確保されていないと判断された住宅の耐震改修工事を支援するものです。

主な経費

木造住宅耐震診断士派遣事業	10 万円
木造住宅耐震改修補助金	100 万円
木造住宅耐震シェルター等設置工事補助金	30 万円

財 源

国からの交付金	70 万円
県からの補助金	32 万円
町の負担	38 万円

55 住宅リフォームの補助

500 万円

住宅リフォームに対する補助事業を令和3年度に引き続き実施します。補助率は20%ですが、中学生以下の子どもがいる世帯は30%に引き上げます。

また、限度額は20万円です。

主な経費

住宅リフォーム補助金	500 万円
------------	--------

財 源

町の負担	500 万円
------	--------

56 広域の消防と救急体制の整備

2億3,731 万円

消防や救急業務は、甘楽町と富岡市、下仁田町、南牧村の4市町村で構成する富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合(事務所は富岡市富岡)が共同で運営しています。各市町村の人口や財政規模に応じて経費を負担しています。

主な経費

富岡甘楽広域消防本部負担金 2億3,731万円

財 源

町の負担 2億3,731万円

57 甘楽町消防団の運営

2,482 万円

甘楽町消防団は、火災や災害など有事の際に活動するするほか、日頃からの予防消防や訓練活動をしています。

消防庁より「消防団員の報酬等の基準」が示されたことにより、基準に沿って消防団員の報酬を増額し、新たに各部への支援金を計上しました。

主な経費

【拡充】消防団員報酬 568 万円

【拡充】消防団員出動報酬 906 万円

【新規】消防団活動支援金 141 万円

準中型運転免許取得費補助金 3件分 28 万円

その他活動費、消防援助隊などの経費 839 万円

財 源

町の負担 2,482 万円



58 **耐震性貯水槽（防火水槽）の設置** 800 万円

県道金井高崎線の道路改良工事に伴い、上州新屋駅南側駐車場の既設防火水槽を撤去し、道路改良工事に支障のない付近の場所に耐震性貯水槽を新規に設置します。

主な経費

既設防火水槽撤去及び耐震性貯水槽設置工事 800 万円

財 源

県からの補償金 744 万円

町の負担 56 万円

59 **適応指導教室の運営** 123 万円

定住自立圏構想の共同事業として実施する適応指導教室の負担金を併せて計上し、質の高い教育機会の創出に取り組みます。

主な経費

【新規】適応指導教室共同運営費 123 万円

財 源

町の負担 123 万円

60 **外国語教育の推進** 1,839 万円

外国青年を小・中学校及び認定こども園、保育園へ派遣することにより、幼い時から英語に親しむ環境を整備するとともに正確な発音の習得と外国人と触れ合う機会の増加により、国際感覚を身につけるための教育推進に取り組みます。

主な経費

ALT英語指導助手4名の報酬、社会保険料、旅費など 1,839 万円

財 源

町の負担 1,839 万円



◎ALTの紹介◎

サラ・ダネミラー(アメリカ)	甘楽中学校
ケネス・シモニアン(アメリカ)	新屋小学校
ケイトリン・スタントン(アメリカ)	福島小学校
ブレンダン・バスティアン(アメリカ)	小幡小学校

※令和3年秋からはALT4人体制となっています。

61 小学校の運営

9,967 万円

小幡小学校、福島小学校、新屋小学校の充実した教育運営に努めます。
 令和3年度から本格的にスタートしたGIGAスクールに対応するため、ICT機器や情報教育支援員の配置経費を計上し、パソコン等のICT機器を活用した授業の充実に取り組みます。
 水泳授業のスイミングスクールを利用した水泳指導業務委託費を計上し、安全で安心な水泳授業を計画的に行います。
 また、今年度から老朽化した机と椅子の更新を6年計画で行い、快適な学習環境の整備します。

主な経費

3つの小学校の教育運営経費 9,967 万円

財源

国からの交付金	16 万円
県からの補助金	18 万円
学校建築基金繰入金など	322 万円
町の負担	9,611 万円



◎児童数の紹介(4月7日現在)

小幡小	151人	
福島小	157人	
新屋小	247人	小学校合計 555人

62 中学校の運営

5,796 万円

甘楽中学校の充実した教育運営に努めます。
 令和3年度から本格的にスタートしたGIGAスクールに対応するため、ICT機器や情報教育支援員の配置経費を計上し、パソコン等のICT機器を活用した授業の充実に取り組みます。
 また、スクールバス運行経費を計上し、遠距離通学者の支援や部活動等の移手段の確保に取り組みます。
 更に、今年度から老朽化した机と椅子の更新を6年計画で行い、快適な学習環境の整備します。

主な経費

甘楽中学校の教育運営経費 5,796 万円

財源

国からの交付金	28 万円
県からの交付金	71 万円
体育館使用料など	17 万円
町の負担	5,680 万円



◎甘楽中 生徒数の紹介(4月7日現在)

1年生	108人	2年生	93人	3年生	108人
中学校合計 309人					

63 国指定名勝・楽山園の運営

2,087 万円

県内唯一の大名庭園として復原整備された名勝楽山園を適切な維持管理に努めながら、その魅力を県内外に周知し、集客を図る取組を行います。

主な経費

人件費、庭園植栽木管理、光熱費など 2,087 万円

財源

観覧料収入 800 万円

物品販売収入 165 万円

町の負担 1,122 万円



64 文化会館の運営

4,207 万円

町民が身近に芸術・文化に親しめる文化施設として、自主事業の実施と運営及び会館の維持管理に努めます。

主な経費

かんら能、寄席、歌謡コンサートなど公演経費 1,000 万円

人件費、光熱費など 3,207 万円

財源

入場料、会館使用料ほか 793 万円

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 100 万円

町の負担 3,314 万円



◎予定している公演

7月 2日 ふれあいの丘歌謡祭

9月 4日 鼓童

8月 21日 宝生流「かんら能・狂言」

10月 28日 遊びの広場&作品展

11月 13日 「音楽の絵本」プレミアム ほか

65 【新規】電子書籍の導入

251 万円

図書の充実を図り、子育て部署及び学校関係者と連携しながら、読書週間の啓発のために電子書籍を導入します。

主な経費

電子書籍システム委託料(300タイトル)	196 万円
その他	55 万円

財 源

町の負担	251 万円
------	--------

66 さくらマラソン大会の運営

643 万円

町の長距離走の普及と振興を図り、町外・県外から参加者を募集し、町の観光・物産等のPRを推進します。

主な経費

第39回大会(令和4年度)の開催経費	560 万円
第40回大会(令和5年度)の準備経費	83 万円

財 源

ランナー参加費、企業協賛金	299 万円
宝くじ助成金(スポーツ振興くじ)	150 万円
町の負担	194 万円



67 【拡充】学校給食の提供

1億1,161 万円

成長期にある子ども達に栄養バランスのとれた鮮度の高いおいしい給食を届けるため、調理技術の向上に努め、食品衛生管理を徹底し、適切な調理設備の使用に取り組んでいます。

地産地消の推進を行うため、お米は全て町内産を使用し、その他の食材もできる限り町内産を使用するよう努めています。今年度から食物アレルギー対応給食を導入し、アレルギーのある児童生徒への対応に取り組みます。

主な経費

給食センターの運営経費(人件費、光熱水費、衛生品、設備点検など)	5,748 万円
学校給食用の食材購入	5,413 万円

財源

給食費	613 万円
町の負担	10,548 万円



◎給食センターで作っている食数
令和4年度は、児童、生徒、教職員を
合わせて、1日あたり1,000食を作っています。



68 【新規】学校給食の無料化

4,444 万円

町では、子育てに伴う負担を軽減するため、小学校及び中学校の児童生徒約900人の給食費を無料化します。

減収額

給食費納入金の減収(小学生分)	2,645 万円
給食費納入金の減収(中学生分)	1,799 万円



学校給食費の無料化について

保護者の皆さまには、日頃より学校給食につきましてご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、学校給食費については、小学生1人につき1年間で45,600円、中学生1人につき1年間で57,000円を負担していただきましたが、町の子育て支援施策の一つとして令和4年4月分より無料化を実施します。

給食費の無料化は、保護者においては経済的負担の軽減、町においては子育て環境の向上と少子化対策などを目的としています。

また、学校給食では、5月のゴールデンウィーク明けに卵・乳を対象とした食物アレルギー対応食の提供も始まります。

今後も学校給食への皆さまのご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

町では、事業費が大きい道路や施設を整備するときなどに、国や金融機関などから「町債」と呼ばれる借金をすることがあります。

町債は、一度に借り入れる額が高額であることや、世代間負担の公平化を図る意味から、長い期間（数年～30年）をかけて返済します。

※町債には、返済額の一部が地方交付税として国から補てんされるものがあります。そのため、町では借金をする際、最も補てん率の高い借金を選択し、町の負担が少なくなるように努めています。

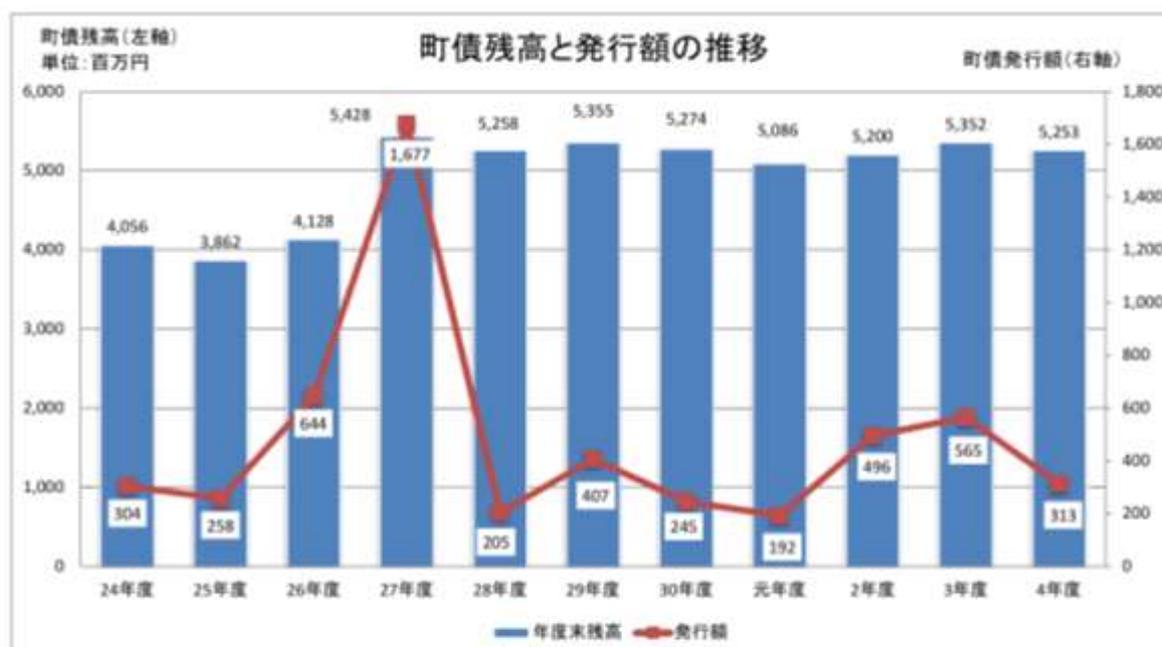
主な経費

借金の元金返済分 4億1,171万円

借金の利子支払分 1,964万円

財源

町の負担 4億3,135万円



※3,4年度は見込みの数値です。

70 国民健康保険事業

14億4,500 万円

国民健康保険は、農業者や自営業者などが加入する医療保険制度です。令和4年度の加入者(被保険者)は3,200人を見込んでいます。

運営にかかる財源は、加入者が医療機関窓口で支払う自己負担額以外は、①加入者が支払う国保税 ②町一般会計からの繰入金 ③県からの補助金などでまかっています。

医療費の支払いは、医療機関へ直接支払うのではなく、群馬県国民健康保険団体連合会を通じて支払われます。

主な経費

医療費などの保険給付費	9億6,697 万円
群馬県への納付金(医療給付費分)	2億8,775 万円
群馬県への事業費納付金(後期高齢者支援金分)	1億474 万円
群馬県への事業費納付金(介護納付金分)	3,391 万円
疾病予防のための健康診査、人間ドック補助など	2,797 万円
国保事業運営のための事務費など	1,341 万円
その他	1,025 万円

財源

国民健康保険税	3億2,031 万円
県からの補助金	9億9,397 万円
町一般会計からの繰入金	8,517 万円
国民健康保険基金会計からの繰入金	3,273 万円
前年度からの繰越金	600 万円
その他	682 万円



★今年度の特徴

- ①子育て世帯支援事業補助金
18歳以下の子どもがいる世帯の経済的負担の軽減を図るため、国保税均等割相当額を子どもの人数分補助します。
令和4年度では、1人当たりの基本的な補助額は33,200円です。
- ②出産育児一時金
加入者が出産したとき、経済的負担を軽減するために支給しています。
通常は42万円ですが、甘楽町は8万円加算して50万円支給しています。
この金額は県内でも最高水準です。

介護保険は、40歳になると加入し、65歳以上の方は介護が必要と認定された場合にサービスが受けられる制度です。(40～64歳までの人も特定疾病により介護が必要になった場合はサービスを受けられます)

令和4年度の加入者(被保険者)は、65歳以上の1号被保険者を4,479人と見込んでいます。このうち、要介護と要支援者は629人で、認定率は14.0%です。

運営にかかる財源は、加入者が介護サービスで支払う自己負担額以外は、①加入者が支払う介護保険料 ②町一般会計からの繰入金 ③国や県からの補助金などでまかっています。

支払いは大きく2つに分けられ、一つは要介護認定者が利用した介護サービスにかかる保険給付費です。もう一つは地域支援事業として介護予防、日常生活支援、地域住民の生活に必要な包括的支援事業にかかる経費です。

主な経費

介護サービスなどの保険給付費	12億2,992 万円
地域支援事業	7,433 万円
介護保険事業運営のための事務費など	1,027 万円
その他	418 万円

財 源

介護保険料	2億9,487 万円
国からの補助金	2億8,886 万円
県からの補助金	1億9,417 万円
支払基金からの交付金	3億4,175 万円
町一般会計からの繰入金	1億9,719 万円
その他	186 万円



★今年度の特徴

令和3年度～5年度分の保険料は昨年度改定されました。介護保険料は、向こう3年間に必要と見込まれる介護サービスの総額を推計し、65歳以上の方の人数などをもとに基準額が決められます。介護保険料基準額は下記のとおりです。

	H30～R2	R3～R5	改定額
月額	5,100 円	5,750 円	650 円
年額	61,200 円	69,000 円	7,800 円

72 後期高齢者医療

1億6,780 万円

後期高齢者医療は、75歳(寝たきり等の場合は65歳)以上の方が加入する医療保険制度です。令和4年度の加入者(被保険者)は2,130人を見込んでいます。

運営にかかる財源は、加入者が医療機関窓口で支払う自己負担額以外は、①加入者が支払う後期高齢者医療保険料 ②町一般会計からの繰入金などでまかっています。

医療費の支払いは、医療機関へ直接支払うのではなく、群馬県後期高齢者医療広域連合を通じて支払われます。

主な経費

後期高齢者医療広域連合会納付金	1億6,679 万円
その他事務費など	101 万円

財 源

後期高齢者医療保険料	1億1,707 万円
町一般会計からの繰入金	5,042 万円
その他	31 万円

73 農業集落排水事業

1億1,920万円

農業用の水質保全、農村生活環境の改善を図り、合わせて公共用水域の保全に寄与することを目的に平成2年度より農業集落排水事業を実施しています。

今後は、施設・設備等の維持管理に係る経費の削減を図るため、計画的に公共下水道へ編入する予定です。予定では、令和4年度に天引地区、令和5年度に城南上野地区、さらに令和8年度を目途に善慶寺国峰地区は、富岡市との広域化・共同化事業により、公共下水道へ編入する計画となっています。

主な経費

城南上野地区の維持管理	760 万円
善慶寺・国峰地区の維持管理	1,681 万円
地方債元利償還金(過去の工事で借りた借入金の返済)	8,521 万円
その他	958 万円

財 源

農業集落排水使用料	2,087 万円
町一般会計からの繰入金	9,672 万円
その他	161 万円



★今年度の特徴

農業集落排水施設整備は完了していますので、維持管理や修繕を行っています。なお、天引地区は令和4年度から公共下水道での処理に切り替わり、他地区についても、公共下水道へ切り替える計画です。

甘楽町の下水道は、利根川上流流域下水道(県央処理区。処理場は玉村町)に接続していません。昭和62年度より下水道整備を行ってきましたが、概ね整備が終了となります。

令和6年4月からの地方公営企業法の適用に向けて、経営的な視点に立った取組が求められています。現在、下水道事業の主要幹線における整備はほぼ終了となることから、今後は、接続率を向上させることによって、安定した料金収入を見込むとともに、維持管理に係るコスト削減や事業の統合などを行いながら一般会計からの繰入金や経費の削減を進めます。

主な経費

公共下水道建設事業(舗装本復旧、設計業務委託、人件費など)	1億4,967 万円
地方債元利償還金(過去の工事で借りた借入金の返済)	2億210 万円
公共下水道維持管理費(保守点検委託料、管路カメラ調査委託料など)	1億413 万円
その他	50 万円

財 源

加入者の分担金・負担金	1,529 万円
公共下水道使用料	1億2,354 万円
国からの交付金	4,827 万円
県からの交付金	95 万円
町一般会計からの繰入金	1億8,035 万円
町債(事業を行うための借入)	8,750 万円
(ただし、町が返済する元利償還金のうちの一部は、後年度に 普通交付税として町に交付されますので、実質の負担は軽減されます)	
その他	50 万円



★今年度の特徴

接続推進の一環として、令和3年度～令和5年度の期間で、合併浄化槽・単独浄化槽・し尿槽から下水道へ切り替えた場合に、宅内排水設備工事費の1/10(上限3万円)を補助する制度を新設します。また、こども支援加算として、世帯に中学生以下のこどもがいる場合、2万円を加算し最大5万円を補助します。

75 水道事業 (収益的支出)

2億4,900万円

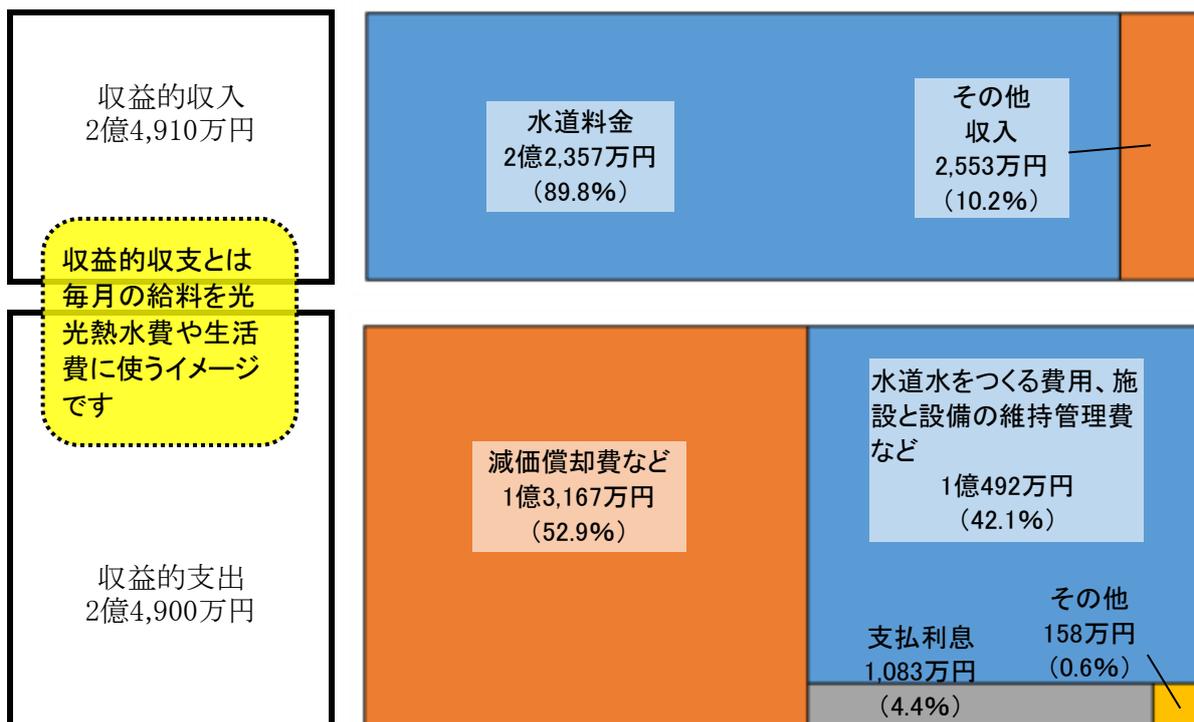
(資本的支出)

2億7,532万円

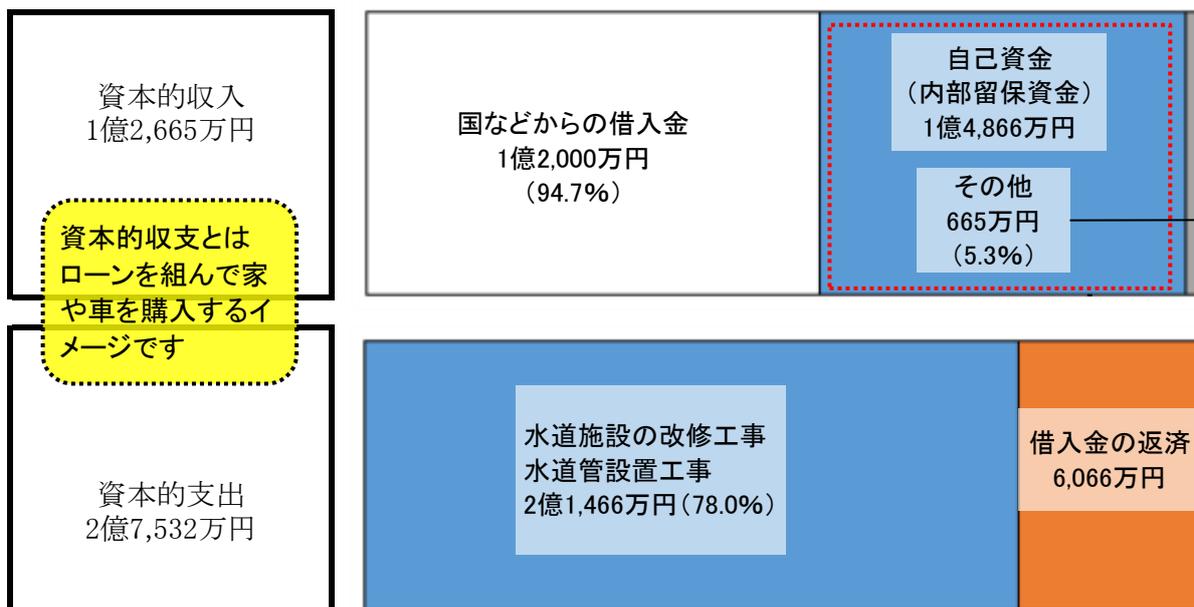
安心・安全で良質な水をお届けするため、老朽化した水道管・施設・設備の改修や漏水対策・水質管理体制の強化、水道台帳の整備などに取り組みます。

会計は「公営企業会計」で経理し、収益的収支(現在のために使うお金)と資本的収支(将来のために使うお金)の大きく2つに区分されます。

▼現在のために使うお金 ※営業活動により得た収益は建設改良積立金などに充てられます。



▼将来のために使うお金 ※収支による不足額は自己資金を補填します。





★今年度の特徴

<水道データ>

給水戸数
5,360戸
年間総給水量
162万3,360m³
1日平均給水量
4,448m³

<主な事業>

公共下水道や道路整備に伴う水道管工事	15,999万円
配水設備機器整備工事(遠隔監視システム設置3箇所)	756万円
秋畑増圧ポンプ場制御盤更新工事	660万円
上水道事業変更認可申請書作成業務委託料	1,012万円



令和3年度改修が完了した白倉浄水場

今年のまちづくり予算

令和4年5月発行

甘 楽 町

(企画課財政係)

☎ 0274-74-3134 (ダイヤルイン)

メール zaisei@town.kanra.lg.jp